

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 275-0004 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:45
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 275-0004（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日4月17日（日）

新しい年度の始まりにあたり、家族そろって食事をとりながら、互いに学校の様子について語り合い、充実した年度になるようにしましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

### 新年度に想う

千曲市教育委員会教育委員 武井音兵衛

三月は別れの月、そして四月は出会いの月。新たな抱負、目標を持って前向きに進んでいただきたい。また各学校区に見守り隊が組織され、子どもの安心・安全にご協力いただいていることに心より感謝。

さて、モンスターパーアレントなる言葉を耳にして久しいが、そのような世情からか、昨年の学習指導要領の改訂により、道徳が教科として行われるとのこと。そこで、文科省の「道徳教育の充実に関する懇談会」委員、中央教育審議会専門委員などを歴任された武蔵野大学員塚茂樹教授が、米国で国務省や陸海軍の公開された政策文書を調査した結果を記してみたい。

米国は戦後の占領政策立案のため、戦争中より日本の教育内容を明治まで遡って分析。そこで注目したのが修身であった。というのも、キリスト教の倫理が徹底していた欧米では、学校で道徳教育をする必要がなく教会がそれを担っているため、道徳教育に違和感を持ったからだ。しかし修身を調べたが、その結果は「内容に何の問題もない」ただ戦時に使われた教科書の一部に軍国主義的な部分はあるが、これをのぞけば「修身科継続すべし」というのがGHQの基本的スタンスであった。ところがGHQの人事等における内部事情により、結果として修身は悪者扱いされて、この教科だけ戦後復活しなかった。

世界各国を見ても道徳の教科化はスタンダードで、フランス、ドイツ、韓国、そして中国、シンガポールにおいても、五段階評価の教科であり、専門の教師もいてしっかり授業をしている。どの国も悩みながら、真剣により良い道徳教育を模索し試行錯誤している。だが日本だけは、道徳教育の中身を議論するのではなく、その手前の議論のみに終わっていたとのこと。

ここにきて、ようやく日本においても道徳が教科化し、またその先の千曲市議会においても、千曲市家庭教育支援条例の成立をみた。教育の根本は「人づくり」にある。より素晴らしい日本国民、そして地球市民の誕生を願うものである。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 声を掛け合い地域のつながりを —

## ～ 3月の補導委員会議より～

3月1日に、補導委員会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

- 1 千曲警察署生活安全課より
  - ・ 27年度の管内における少年非行状況は357件である。
  - 深夜徘徊が圧倒的に多く、喫煙・粗暴行為・飲酒・学校さぼりが続き、パチンコ店入店者もいた
  - ・ 今年に入ってから16人を補導し、深夜徘徊や喫煙が多い。
- 2 平成27年度少年育成センター事業報告について
- 3 声掛け事案の認知状況及びセンター活動状況・少年非行の概要について
- 4 1・2月の補導活動を振り返って
- 5 年度末休業中の学校職員・PTAとの合同補導活動について
- 6 1年間の補導活動を振り返って
- 7 子どもを性被害から守るための条例に関する基本的な方針について
- 8 男女共同参画社会づくり講演会について



# 補導日誌から

### 自主的な取り組みの工夫に感謝

2月15日（月） 3:00pm～5:00

前日までの春のような暖かな日とは違って、真冬の寒風が吹く日でした。巡回した公園等には子ども達の姿は見られませんでした。五加児童館では、子ども達が縄跳びの練習をしていました。どの子どもも目標を持って練習をしているようでした。壁には回す技のレベルに応じたランク表が掲示されており、子どもの自主的な取り組みを促す工夫がなされており、指導する先生方の工夫に感謝です。

### 万引きの芽は早期に摘んで

2月17日（水） 3:00pm～5:00

時間も遅く寒かったためか、子ども達は上山田中央公園に3人いただけでした。スーパーA店では「おまけ付きのお菓子などのおまけだけを持っていったり、袋を開けてそのままにしたりということがあ

る」との話がありました。万引きの芽は早期に摘んでしまいたいものです。また戸倉駅の待合室では、男女の生徒が目余る行為をしていると、駅舎内の店にいたお客さんが話してくれました。

### 子ども達からあいさつ

2月17日（水） 3:00pm～5:00

今日は雪が降り、風が強く寒い日でした。屋代高校前駅には大勢の中学生がいましたが、子ども達の方から「こんにちは」と声を掛けられ、あわてて返事を返しました。気持ち良かったです。駅員さんからは、たまに放置自転車があるほかには問題となることはないとのことでした。通学路では子ども達が足早に帰って行きました。

### 狭い通学路に危険が一杯

2月18日（木） 3:00pm～5:00

埴生小学校区内の通学路等を中心に巡回をしました。埴生小学校区の通学路は一部を除きほとんどの道路幅が狭く、歩道が分離されていないことから危険が一杯あります。道路が狭いと車は怖くてスピードを出せないことから、幸いにもこれまでに大きな事故はありませんが、危険はたくさん潜んでいます。改めて通学路の安全性を学校側及びPTA役員、保護者のみなさんと考えていきたいです。

### 行き届いた清掃に感謝

2月19日(金) 3:00pm~5:00

屋代中学校近くの市営住宅は空室も多く、ごみ等があふれている所もあります。夜だけでなく、昼も防犯上問題はないのでしょうか。屋代高校前駅は掃除も行き届いており、新たに汚しにくい感じがします。駅の方の努力に感謝です。小学校の下校時間になると、子ども達はきちんと下校していました。暖かい日で科野の里ふれあい公園には親子連れや子ども達の姿が見られました。

### 子ども達が率先してゴミ拾い

2月23日(火) 3:00pm~5:00

通学路に空き缶等のごみが散乱していたので、下校途中の治田小学校の子ども達に協力してもらい、通学路のごみを一緒に拾いました。子ども達は率先して拾ってくれ、とてもうれしかったです。ほとんどのごみは大人のポイ捨てと思われるのですが、マナーの悪いのが残念です。

### 万引きが多いので注意を

3月2日(水) 3:00pm~5:00

万引きの被害があるか尋ねるとスーパーB店・C店ともないとのことでしたが、最近万引きが多いことから、注意するようお願いして店を出ました。Dコンビニ店では客の出入りが頻繁にありました。2人の女子小学生がジュースを買いに来ていたので声を掛けるとやばいと感じたのでしょうか、早々に店を出て行きました。

### 引き続き見回りが必要

3月3日(木) 3:00pm~5:00

穏やかな陽気なので、幾つかの公園を巡回しましたが、子ども達は公園には一人もいませんでした。施設周りを確認したところ、小船山公園ではタバコの吸い殻が数本、内川公園では吸い殻10本以上、牛乳パックの紙が捨てられてありました。特に内川公園はたまり場になっている感じです。引き続き注意が必要かと思います。千曲駅では自転車が整然と駐輪され落ち着いた雰囲気を感じられました。

### マナーの悪い大人もいる

3月4日(金) 3:00pm~5:00

屋代高校前駅の広場にはコーヒー缶が、女子トイレには菓子の袋が捨ててありました。駅員さんに近況を聴くと「時々家庭ごみの袋がトイレのドアの横に放置されており、大人の中にもマナーの悪いのがいます」とのことでした。雨宮児童公園では女の子3人が滑り台で、男の子4人はゲームをし元気に遊んでいました。声を掛けると大きな声で挨拶が返ってきたので嬉しくなりました。

## 編集室の窓

### 目標に向かって頑張る

何かをやり遂げるには、目標を決め努力を積み重ねていくことが必要です。この姿勢を幼い頃から教えていきたい。子どもの年齢に応じた実現可能な目標を立てることが出来るように、具体的なアドバイスや手助けをし支えたい。そして結果がどうであれ、子どもが何かをやり遂げようと自分なりに頑張って取り組んだなら、それを認め褒めることが大切です。うまくいなくても、どこまで達成したのかに注目し、目標に向かって頑張ったことを褒めたい。

新学期がスタートするこの時期に、将来の夢について親子で語り合いたい。その夢を実現させるために当面頑張ることを、子ども自身の口から語らせましょう。そして、取り組みの姿を褒め、時には自信を失いかけても、達成できるものと子どもの可能性をどこまでも信じてやりましょう。



子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「将来の夢」 埴生中学校2年 宮本 未龍 さん

僕が将来に就きたいと考えている職業は教師です。特に中学校の教師になりたいと思っています。理由は、人に教えることが大好きだからです。教えた後に、「分かった」と言ってもらえるととてもうれしいです。教師は、生徒に教えるため沢山の知識が必要です。そのため僕は、まず高校に入るため勉強を頑張ったり、積極的に分からない所を聞き、仲間にも教えようとしています。でも、僕も当然分からないところがあるし、教え方もまだ十分でないと思います。なので、これからは先生に聞いたり、勉強したりして夢に向かって努力していこうと思います。



「将来の夢」 埴生中学校2年 近藤 明香 さん

私の夢は保育士になることです。理由は、子どもを預かるこの仕事にやりがいを感じながら働けると思ったことと、人とたくさん関わられる楽しさがあると思ったからです。また、保育士の仕事は重労働で大変だとよく耳にしますが、保育士として働くその日々の中で、たくさんの楽しさを見つけることができれば、それも乗り越えていかれると思います。保育士になるために、今できる精一杯のことをやっていきたいです。



「将来の夢」 埴生中学校2年 北村 臣人 さん

僕には小学校からの将来の夢があります。それはプロのバスケットボールの選手になることです。何故、僕がプロのバスケットボールの選手を目指そうと思ったかという、小学校のときにNBAの試合を観て、カッコいいと思ったからです。それにはまず、高校に入学し、高校でいい成績を残していくことと、それによってbjリーグで活躍したいです。今は、自分の夢に向かって、できることを全力でやっていきたいです。

